

[2026 関西 miniMAX 6 時間耐久選手権]

安全の為にしなければならない改造

「共通規則」

1) ワイヤーロック

オールドレンボルト・オイルフェラーキャップ・オイルフィルター・オイルチェックボルトのボルト等は、ワイヤーロック加工を施す事。

2) ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付き燃料タンク及キャブレターに必ずガソリンキャッチタンクを装着し、その中は空にしておく事
また、転倒時にガソリンがこぼれるのを防ぐ為キャブレターからのエアークラップからもチューブを出し、キャッチタンクに繋ぐ事。2 サイクル車輜も装着する事。

3) オイルキャッチタンク

4 サイクル車には、必ず金属製のオイルキャッチタンクを装着する事。取り付けは、ボルト又は金属製のバンドで行う事。

4) アンダーカウル

4 サイクル車は、使用している車両のエンジンオイル総量を、受け止められる事の出来る容量の形状を確保している事。2 サイクル車は装着を推奨する。

5) スプロケットガード・チェーンガード

チェーンとスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれる事の無いように、リアスプロケットガードの取り付けが義務付けられる。又チェーンガードの取り付けを推奨する。

転倒時に、地面と接触する恐れのあるフェアリングに覆われていないオイルを保持する全てのエンジンケースは、2 次カバーを取り付ける事を推奨する。

6) フロントフェンダー

巻き込み防止の為、必ず装着する事。但しフルカウル装着車輜は、取り外し可能とする。

「参加車両規則」

- ・**GROM クラス** HRC GROM CUP 規則に順ずる。

但しタイヤに関しては、miniMAX ルールとしてメーカーは自由とする。

- ・**F L クラス** GSX-R125 CBR-125 YZF-R125 NSF100 Z125 APE100 XR100 NSR50 等

GROM 以外の 50~125 cc以下 12~17 インチ装着車両とする。

- ・エアクリーナーBOX 取り外し、エアファンネル装着可能、キャブレターのジェット数交換可能
- ・マフラー、リアサスペンション交換可能。
- ・NSF100 はレース用 CDI 変更不可。
- ・スクーターに付いては、排気量、吸排気系改造の有無、プーリー及ウエイト等の仕様変更を上記規定に準ずるとし、各クラス編入とする。
- ・外装は、社外品に交換する事は可能。ステップ、フェンダー、カウルの装着。
- ・APE、XR 車両は、キャブレター口径を 22mm 相当まで変更可能。
- ・モンキー/KSR 系横置きエンジンは、キャブレター口径 24mm 相当まで変更可能。
- ・排気量ボブアップは認められない。

以上、車検時に違反しているチームはレース参加不可とするが、練習走行までに

改修し、再車検に合格すれば、参加を認める。

「 競 技 規 則 」

スタート順及びレース進行内容

- 1) 両クラスとも抽選によりグリッド決定。
- 2) スタート 3 分前エンジンスタート、フォーメーションラップ 1 周、グリッド整列。
- 3) 国旗振り下ろしスタート。
- 4) 両クラス共ルマン式スタートとする。
- 5) マシンを支えるライダーもツナギ、グローブ、ブーツ着用とする。
- 6) ゴールは 6 時間経過後、1 周としチェッカーフラグを振る。

競技の中断

- 1) やむを得ない事情により、レースの続行が危険と判断された場合、事務局は走行中の全競技車両をただちに停止させる事が出来る。
- 2) 全車停止の場合は、赤旗が振動表示される。
- 3) 競技が中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって走行し、赤旗が振られた時の周の**先頭車両**から 1 列に並べ、停止位置はライダーズミーティング時に告示する。
- 4) 赤旗が長引く場合は、競技委員長判断で、ピットに戻る場合がある。その時のピット作業、給油、タイヤ交換、ライダー交替は可能とする。又タイヤウォーマーの使用も認める。
- 5) 赤旗提示周回に追い越しをしたライダーは、レース再開後ピットロードエンドにて **5 分間停止**のペナルティとする。

レース再開

- 1) 危険な状態が解消した場合、事務局はレースを再開することが出来る。
- 2) スタート後、トップが 3 周を完走する前の赤旗に対する再スタートは、そのレースが開始される前の時点からのスタート進行に則して行なわれる。
- 3) スタート後、トップが 3 周以上完走した場合の赤旗に対する再スタートは、先導車によるローリングスタートとする。

- 4) 赤旗により全車両がピットに戻った場合の再スタートは、赤旗掲示前の通過順位でスタートラインに整列、マーシャル先導 2 周後再スタートとする。
- 5) 赤旗提示後、ピットインした車両の再スタートは、ピットレース出口に待機、最後尾スタートとなる。
- 6) ピットレーン待機車両は、再スタート後、最後尾車両がピットレーン出口を通過後、オフィシャルの指示に従ってスタートする事。
- 7) 赤旗再スタート方法は、ライダーズミーティングで告示される。

ピット作業

- 1) ライダーは、レース中マシン調整や給油の為ピットに戻ることが出来る。
- 2) 燃料補給時には、必ずエンジンを停止し、燃料補給に携えるスタッフは、保護具ならびに適切な防火服を推奨する。最低でも、**長袖、長ズボン、目の保護用ゴーグルは着用する事**。
- 3) 各チームは、適切に作動する消火器を必ず準備する事。車検時に検査し車検ステッカーを貼る。
- 4) 燃料補給作業中、消火器を持って待機する要員を必ず 1 名用意する事。
- 5) 給油は、金属製のガソリン携行缶を使用する事。クイックチャージャーは金属製のみ使用可能。
- 6) 本事項の違反については、**ドライブスルーペナルティ**とする。

競技車両変更

- 1) レース競技中、重大なマシントラブル・転倒等、スタート車両が走行不可能となった場合、事務局への申告後、予備車両での走行を認める。その場合は賞典外とする。車両クラスは問わない。
- 2) スタート車両がエンジントラブルにより、走行不可能になった場合は、同クラスエンジンに限り換装を認める。車体での持ち込みも可能だが、エンジンを降ろし載せ替えなければ成らない。又エンジン単体での持ち込みは可能。この場合は賞典外としない。但、車検は受けること。

ライダーについて

- 1) 全ての参加者は、明朗かつ公正に行動しスポーツマンシップに則ったマナーを保つ事。
- 2) 1 チーム、2 名以上とし GROM クラス 5 名、F L クラス 3 名~6 名迄で構成する事。エントリーしたチーム以外での走行は認められない。但し、次戦にて、他チームからのエントリーは可能。

- 3) 両クラスにて1チーム国際A級ライセンスホルダーは1名とし、スタートライダーで有ってはならない。
1名以上の国際ライセンスホルダーのチームは、賞典外出走となる。
- 4) 当レースに初参加又はレース経験の浅いライダーは、エントリー時に、事務局に届けなければならない。
そのライダーは、レース前練習走行にて、ゼッケンNOベストを着て必ず1回は走行する事。
- 5) 練習走行又はレース中、タイム等を考慮し、事務局はベスト無しでも大丈夫と判断した場合は外すことが出来る。
- 6) ベスト着用ライダーに対する追い越しは、安全且スムーズでなくてはならず、危険な追い越しと、事務局が判断した場合、指定場所にて **5分間停止** のペナルティとする。
- 7) ベスト着用ライダーに接触転倒させたチームは、**最終周回数より10周のペナルティー** を課す。
- 8) レース中、他のライダーに比べ速度が遅いライダーは、事務局よりゼッケンNOベスト着用を要請する場合がある。
- 9) ツナギはMFJ公認を推奨し、脊椎パッドは必ず装着する事。ヘルメットはMFJ公認フルフェイスとする。グローブは皮製、ブーツはくるぶし迄保護する2輪用とする。
- 10) 両クラス参加ライダーは、コース最低タイムをクリアしていなければ、走行出来ない。
最低タイムは、25年度各コースのベストタイム最下位の130%落ちとする。
・名阪スポーツサーキットABコース・・・61.951秒
・名阪スポーツランドEコース・・・・・・・52.781秒

タイヤについて

- 1) タイヤの使用制限は無とし、レース中のタイヤ本数の制限はしない。
- 2) 耐久レースなので、タイヤマネジメントもレース采配には大事なことであり、フレッシュタイヤに交換する時は、必ず脱落しないように確認する事。
- 3) タイヤサイズは12インチ又は17インチとする。
- 4) タイヤメーカーは問わず。

特別規則

- 1) ピットロード走行速度が速く危険な為、ピットロード内では、1 速走行（スクーターはその速度に準ずる）とし、安全な速度（危険生じた場合、直ちに停止出来る速度又は 25 km/h 程度）で走行する事。
- 2) 主催者、オフィシャルが判断し、ピットロード速度が速い車輛は**ドライブスルーペナルティ**とする。ピットロード入口、出口にパイロン（タイヤシケイン）を設け、その間は 1 速走行を守る。
- 3) ポイント獲得順位車輛（1 ～ 3 位）は、主催者判断で排気量検査を行なえる事とする。該当車輛は、指示を受けた場合、速やかに排気量を測れるまで分解し提示する事。これを拒否した場合は失格とする。
- 4) 本大会は、スポーツマンシップに則り競技会を運営するものであり、競技に参加又観客を含め、チーム間の抗議に付いては主催者に申し出る事とする。
- 5) 此れに違反した競技参加者（チーム）は、失格及観客は退場とする。
- 6) ピットレーン速度規則、及び給油規則違反をした警告 2 回受けたチームは、**ドライブスルーペナルティ**を科す。
- 7) 車検時は必ずエンジンを止めること。

エントリーについて

- 1) 2026 年も、年間エントリーを受付ける。
- 2) 受付開始は、**2026 年 1 月 8 日（木）から 2026 年 3 月 6 日（金）消印有効**までとする。
- 3) エントリー用紙に全戦○をし、90,000 円（税込）を振込むこと。保険代は別途。
- 4) 両クラス 1 戦エントリーは、参戦番号に○をし、27,000 円（税込）を振込むこと。保険代は別途。

振込み先：三菱 UFJ 銀行天神橋銀行 普通 1 1 1 5 5 4 9

三井住友銀行天満橋支店 普通 1 4 1 8 2 3 0

有限会社アールエーサーティース

- 5) 年間エントリーチームには、年間ゼッケンを与える。希望ゼッケンが有る場合はエントリー用紙に明記する事。但しランキング指定ゼッケン以外とする。

- 6) 2025 年ランキング指定ゼッケンチームも希望ゼッケンを受付ける。その場合ランキングゼッケンは欠番となる。
- 7) 年間エントリーチームは、ライダー変更、保険加入が無い場合は、毎レース用紙の送付は要らない。但し、変更が有る場合は、メールにて事務局まで連絡する事。2 戦エントリーも送付は要らない。
- 8) 各レースにエントリーするチームは、各エントリー期間内に申込書を送付、送金する事。インターネットからのエントリーも送信後、送金をする事。
- 9) スポーツ安全保険加入ライダーは、必ず**氏名、年齢を明記**する事。保険受付は、レース 3 日前に締切り。それ以降の保険加入は出来ない。(名簿、着金確認後の加入となる為)

尚、当日ライダー変更は可能ですが、スポーツ安全保険には、上記の通り加入出来ません。
- 10) スポーツ安全保険有効期間は、2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月末日午後 12 時まで。

2026 年 4 月よりスポーツ安全保険料金改定が有り、**64 歳以下 2,000 円、中学生以下 800 円**

- 11) 参加受理書は発行しません。ホームページに年間エントリーリストチームを掲載致しますので確認下さい。毎エントリーチームに付いては、レース前発表の正式エントリーリストで確認下さい。

車載カメラについて

- 1) カメラはボルトオンとし、テープ等で補強する事。走行中に転倒以外で脱落させた場合はピットレーンエンドにて 5 分間停止のペナルティとする。
- 2) ドローン撮影に付いては、サーキットコースをバイクが走行していない時間帯での撮影は許可する。走行中はコース外の撮影のみ許可する。
- 3) 年々カメラ、動画も多彩になり、楽しい映像であれば、関西 6 時間耐久レースの盛り上になるので許可の範囲を広げた。
- 4) 転倒し車載カメラがコース上に脱落、オフィシャルが安全上速やかに撤去する際、コース外に放り投げる場合が有ります。故障してもチーム及ライダーの責任とする。
- 5) ライダーのヘルメットに装着カメラは、禁止とする。

レース抗議に付いて

- 1) 正式に登録されたライダーのみが、抗議申し立てが出来る。
- 2) 抗議はレースがスタートし終了、確定結果までとする。
- 3) 確定結果後の抗議は、一切受け付けない。

シリーズポイントに付いて

各レースに下記ポイントが与えられる。

1 位 20P、2 位 18P、3 位 15P、4 位 12P、5 位 10P、
6 位 8P、7 位 5P、8 位 4P、9 位 2P、10 位 1P。

- 1) 最終戦で決定したシリーズポイントトータルが同ポイントの場合は、全戦の周回数合計が多い方が上位とする。
- 2) 同周回数の場合は、入賞回数が多い方が上位とする。

ゼッケンに付いて

- ・車両のベース色に、指定ゼッケン色数字を載せているマシンが有るが、レース中に判別がし難い為、必ずゼッケンは下記ベース色、文字色とする。

・ F L クラス 白ベース赤文字 又は 赤ベース白文字。

・ GROM クラス 白ベース黒文字 又は 黒ベース白文字

以上

2026 年 1 月 5 日

関西 miniMAX 6 時間耐久レース選手権

事務局アドレス : rasurtee@qb3.so-net.ne.jp

事務局長 長谷川 健